

テーマ

こども

団体名

NPO法人 居場所 そら

<p>団体の概要 (団体の紹介や普段の活動内容など)</p>	<p>橘中学校地域学校協働本部を永続的なものにするため、令和4年にNPO法人となりました。合言葉は「地域で地域の子どもを育てよう」。学校に行きづらい子ども達の支援(そらルーム)、子ども食堂(そら食堂)、橘中学校放課後居場所(そらカフェ)、そら花壇部、そら祭り部、その他、地域と子どもたちのために活動しています。</p>
<p>100周年に関連した活動 (これまでに実施したことや今後実施したいことなど)</p>	<p>大人も子どもも地域を大好きになって楽しく暮らして欲しい。と思い活動していますので、100周年に向けて、そら食堂やお祭り等の活動の中で100人リレーコメント(数字とコメントを持って写真を撮り*写真は任意、100の形に貼る)を実施します。</p>
<p>これだけは伝えたい!</p>	<p>居場所とは、そこにいて楽しい場所、ほっとする場所、そこに行けば当たり前仲間がいる場所です。 楽しいこと、好きなことができる居場所を作るためには、自分たちが楽しむしかありません。 みんな来てね! 来てくれたら、そこが居場所になるかもしれません!</p>

テーマ

こども

団体名

ガールスカウト神奈川県第6団

<p>団体の概要 (団体の紹介や普段の活動内容など)</p>	<p>1969年横浜市保土ヶ谷区に発団しました。ガールスカウトは、少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにすること」を使命とする世界的な社会教育組織です。その活動は『自己開発』『自然とともに』『人との交わり』という3つを柱に、少女たちが自主的に課題に取り組みます。国際交流・野外活動・奉仕活動を通じ、福祉・環境・平和などの問題に向き合う少女たちを支援しながら魅力あるプログラムを展開しています。</p>
<p>100周年に関連した活動 (これまでに実施したことや今後実施したいことなど)</p>	<p>保土ヶ谷フラワーメイト様とのコラボレーションとして、保土ヶ谷区庁舎の花壇の整備をいたしました。引き続き緑化、整備などの活動をご一緒したいと考えております。 2025年3月1日(土)～3月16日(日)には、保土ヶ谷区役所にガールスカウト活動の展示を予定しており、4月から2月までの1年の活動写真や制作物とともに、100周年をアピールする展示をしたいと考えています。</p>
<p>これだけは伝えたい！</p>	<p>募金活動、清掃活動、お祭りなどへの参加を通して地域とのつながりや愛着を高めています。月に2度ほど星川駅かるがもで活動していますので、ご興味のあるお子様がいらっしゃれば、体験にお越しく下さい。 ホームページやSNSも開設しています！ぜひご覧ください。</p>

テーマ

こども

団体名

NPO法人 ちゃっと

## 団体の概要

(団体の紹介や普段の活動内容など)

小さな子育てサロンを運営していたメンバーが、2018年5月より、NPO法人 ちゃっととして活動を開始しました。  
当法人は、「共育・共食・共学」を基本理念とし親と子をとるべく全ての家庭に対して、育児支援、生活支援、介護支援など切れ目のない家庭支援に対する事業をおこなう事を目的としています。

①横浜市補助事業 ※詳しくは、星の子、風の子のページをご覧ください。  
親と子のつどいの広場 星の子 運営。  
親と子のつどいの広場 風の子 運営。

②横浜市保土ヶ谷区受託事業  
横浜市保土ヶ谷区 寄り添い型生活支援「放課後塾 虹の子」

③保育ボランティア派遣  
講座や講習会の時の保育ボランティアを、派遣いたします。

④子育てサロンコーディネート  
子育てサロンの企画に困ったらご相談ください。よりよいサロンを一緒に作っていきましょう。  
子育てサロンの運営のお手伝いをします。講師派遣は有償ですが、ご相談は無料です。

⑤子育て支援  
「リフレッシュサロン」「チャット カフェ」を開催。  
「親子が集まるイベントの企画」、「リフレッシュ講座開催」など。  
「ちゃっと保育園」開催(2014.5～2021.3)  
「ほどがやちゃっと亭」(終了)  
「少してのかかる子の英語講座」(終了)  
「ほどがや こども ニコニコ フェスタ」運営(2015～)  
「ほめ方 しかり方」講座開催(2020.4～ 現在は、「ことばかけ」講座として開催)



団体の概要  
(団体の紹介や普段の活動内容など)

- ⑥多世代交流  
「たまり場 チャット」を開催。  
「コミュニティサロン ほどがや ちゃっと亭」  
(2020.4～、2024.4より移転)
- ⑦こども食堂  
「星の子こども食堂」運営(2016.5～)  
「出張 星の子こども食堂」(2023.6～)  
「ヘルキーカフェ」(2017.2～ 現在は無料配布会として開催)  
「月の子こども食堂」(2021.11～)
- ⑧無料塾  
「放課後アカデミー 森の子」(2023.6～)
- ⑨支援プログラム  
「ことばかけ」講座プログラム(ちはっ策に基づくプログラム)



100周年に関連した活動  
(これまでに実施したことや今後実施したいことなど)

100周年事業がひとつの通過点として、次への世代に繋げていく活動を実施してみたいと思っています。  
今までの活動で知り合った人やグループを、「こどもの居場所」として繋げていきたいと思っています。  
<実施したいこと>  
①保土ヶ谷区のホームページに「こどもの居場所」のサイトを作りたい  
②「こどもの居場所」に掲載するメンバーを100人(100グループ)探しだしたい!  
③「こどもの居場所」のサイトが小学生の「町たんけん」の授業で使われるようにしたい!

これだけは伝えたい!

- ①自分の住んでる街を好きになってもらいたい!
- ②「こどもの居場所」ですが、根本は、こども達とその居場所で、「自分自身を認められる所、認めてもらえる所」そんな、「こどもの居場所」を作りたい。
- ③沢山の大人にも賛同してもらい、一緒に活動していきたいです



テーマ

こども

団体名

保土ヶ谷少年補導員連絡会

<p>団体の概要 (団体の紹介や普段の活動内容など)</p>	<p>現在、神奈川県内で約1,400人が地域のボランティアとして、警察と連携して非行防止・青少年の健全育成活動を行っています。保土ヶ谷少年補導員連絡会では現在、少年補導員24名、少年支援委員15名の合計39名で活動しています。</p> <p>主な取り組みとして、月2回程度、夜間を中心に街頭補導活動・定例パトロールを実施しています。またスクールサポーターと連携して、保土ヶ谷警察署管内の小中学校を訪問して、非行防止教室・サイバー教室や不審者対応訓練、交通安全運動などのキャンペーンに参加しています。</p>
<p>100周年に関連した活動 (これまでに実施したことや今後実施したいことなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ サイバー教室の実施</li> <li>◎ 非行防止啓発グッズの製作</li> <li>◎ 地域ふれあい事業(遠足)の実施</li> <li>◎ 子どもの居場所づくり(地域交流)の推進</li> </ul>
<p>これだけは伝えたい！</p>	<p>【新任補導員を募集中】「少年補導員と一緒に活動しませんか？」</p> <p>少年補導員が行う活動【取り組み】は、街で出会った少年少女に適切な助言、指導をすることで非行を未然に防止するとともに、事故や犯罪等から守るという重要な活動です。そのため「声かけ」がとても大切になります。わたしたちは、その努力を続けています。ぜひ一緒に協力してください。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

テーマ

こども

団体名

保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ

<p>団体の概要 (団体の紹介や普段の活動内容など)</p>	<p>平成19年の3月に地域子育て支援拠点こっころ開設 おなかのなかの赤ちゃんから就学前の親子 子育てを応援する人のための場所です。 「あそんでしゃべって 笑って泣いて 一緒に作ろうまあい笑顔」をモットーに以下の7つの事業を行っています。 ① ひろば ② 子育て相談 ③ 情報収集・提供 ④ 利用者支援 ⑤ ネットワークづくり ⑥ 人材育成 ⑦ 子育てサポートシステム事務局</p>
<p>100周年に関連した活動 (これまでに実施したことや今後実施したいことなど)</p>	<p>こっころ開設から20年を迎えるにあたり、今まで保土ヶ谷区の子育ての拠点としての20年の活動の中でつながった方々、応援していただいた方々と一緒に保土ヶ谷の未来を担う子ども、保土ヶ谷で子育てをしている親子を応援していけるようなイベントを開催する。 保土ヶ谷公会堂をかりて、親子をはじめいろいろな方々に参加してもらいみんなが楽しめるイベントを開催し、子どもそして子育て中の方に応援メッセージを届けていく。</p>
<p>これだけは伝えたい！</p>	<p>未来を担う子どもたちの成長をみんなで応援していこう！ 保土ヶ谷で子育てしてよかったと思えるようなつながりを実感できる地域を作っていこう！</p>

テーマ

こども

団体名

特定非営利活動法人 元気な地域人の会

<p>団体の概要 (団体の紹介や普段の活動内容など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人は、次代を担う青少年の健全育成を図るため、小中学生の文化・スポーツ活動を支援するほか、区民文化の向上に資する活動を支援することなどを目的(当法人定款第3条)とする。</li> <li>・このため、当面は小中学校から助成要請のあった文化・スポーツ活動に対し、審査の上、助成金を提供するほか、保土ヶ谷区の歌「わがまち、保土ヶ谷」の普及啓発活動を支援する。</li> <li>・当法人の運営は会費により賄われ、会員は約80名である。</li> <li>・基本的には日常的な活動は特になく、月に一回程度の理事会を開催し、学校等からの申請案件の審査や諸課題に対応しています。</li> </ul>
<p>100周年に関連した活動 (これまでに実施したことや今後実施したいことなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現段階では具体的な提案はありませんが、参考のため、以下に最近の取り組みについてご紹介します。</li> <li>・次代を担う子どもたちにより良い環境を引き継ぐため策定された「ほどがや花憲章」で花と緑にあふれた「花の街ほどがや」づくりが宣言されました。</li> <li>・これらの趣旨を生かし、当法人では2022～23年度にわたり、区内27の小中学校全校に寄付させていただき、「保土ヶ谷区学校・まち、花いっぱい活動」に取り組みました。これは、どのような花を育てるか、誰が中心になって育てるかなどを各学校ごとに主体的に決めていただき、取り組んだものです。</li> <li>・区制100周年記念事業においてもこの成果を生かせたら幸いと考えています。</li> </ul>
<p>これだけは伝えたい！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人は、上述した事業のほか、団体概要で触れた定款の範囲内で、多様な活動が可能です。今後、各団体との交流の中で、様々な事業が創出されると思われるため、これらに対し柔軟に対応していきたいと考えています。</li> <li>・趣旨にご賛同いただける方の入会(個人・法人を問わず)をお待ちしております。</li> </ul>

テーマ

こども

団体名

子ども食堂 ohana かわしま

## 団体の概要

(団体の紹介や普段の活動内容など)

私たちは川島町を盛り上げたい！川島を知ってもらいたい！子どもたちにもっと笑顔になってもらいたい！その思いで令和6年の5月に3名で立ち上げました。現在では多くの大人に知ってもらいボランティアが8名に増え、学生ボランティアも月替わりで数名来てくれています。

活動拠点は川島東部地区にある川島地域ケアプラザで月に1回、不定期で開催しています。メニューは子どもたちが一番好きなカレーライスで固定しています。季節のイベントではメニューが変わりお楽しみランチとなります。食事の提供をしながら子ども達と一緒に遊んだり季節のイベントを行うなど常に楽しくいろいろな体験や経験ができるように運営しています。ohanaの日を8月7日に設け、感謝祭を行いお祭りメニューを無償で提供しました。夏休み期間は週1回、夏休み応援プロジェクトとして子ども食堂だけでなく、学習支援を行い宿題のお手伝いや自由研究を一緒に考えたり一人でお留守番をする子どもたちの居場所として賑わいました。

## 100周年に関連した活動

(これまでに実施したことや今後実施したいことなど)

地元の良さをより皆さんに！地産地消を目指して、安心して暮らせる街づくり！使用しているお野菜は地元農家さんより無償提供された新鮮なお野菜です。川島にはたくさんの農家さんがおり、美味しいお野菜がたくさんあります。来場者には提供された農家さんの直売所をお伝えしたり、ほどがや朝市など地元野菜が買える場所をお伝えしています。区外から参加される方も多いので地元の良さ、保土ヶ谷の魅力を知ってもらえる良い機会になっています。また農家さんより廃棄になってしまうお野菜をいただき、来場者に持って帰ってもらう活動もしており、食品ロスやCO2を減らすなど、環境にやさしく、安心して生活ができる地域づくりを目指しています。

これだけは伝えたい！

料理好き、子ども好きの方々が集まってくれましたが、皆さんがそれぞれ資格を持っているのでより良い運営が出来ていることです。調理師や栄養士の方には頂いたお野菜で副菜を作るなど栄養価の高いメニューを考案してもらっています。季節のメニューや毎回提供するサブメニューが変わるところも、子どもたちの楽しみのひとつになっています。

保育士もいるのでイベント毎に体を使ったゲームを考案してもらい、普段の子ども食堂とは違う取り組みもしています。防災士や救命士もいるので防災の日や救急の日に防災や減災、ケガをしたときの対応など、親子や地域の方が楽しんで学べる催しも計画しています。子ども発達障がいアドバイザーや子育て支援員の資格を持つスタッフもいるので子育てや発達の悩みなど、子ども食堂だけに限らず色々なところから皆さんをサポートして安心して過ごせる活動をして行きたいと考えています。

ohanaはハワイの言葉で「家族」を意味します。スタッフは年齢や性別など関係なくニックネームで呼び合い、和気あいあいと活動しています。子ども達にもニックネームで呼んでもらい「ohanaに来てくれた人は皆家族」そんな思いで運営しています。子ども食堂となっていますが、学生や大人、地域の方々にも来ていただいています。年齢性別に関係なく、皆さんの居場所になれば嬉しいです！